

令和 7（2025）年度事業報告

1. 大学等に対する支援等の活動

<令和 7 年度事業計画>

- 会員がそれぞれ個人または個人のグループの自由な発想と主体性のもとに、大学その他の文教関係機関や関係団体等の運営、援助、助言、研究、研修、普及啓発事業への参加、広報への協力その他の活動を行う。

➤ 令和 7 年度活動例

- ✓ 学校法人その他の公益法人等の役員、教職員として教育研究、経営等に従事。このうち一部の報酬については、本法人の収入として受け入れた。
- ✓ 学生の学修を支援するための学生寮を運営。

2. ニュースレター及び書籍の出版等

<令和 7 年度事業計画>

- 会員間、倶楽部内外の情報共有・発信を目的として、会報（月 1 回程度目標）を発行する。
- 夢倶楽部出版部として、教育、学術、文化、スポーツに関する書籍を出版することを検討する。このため、出版部運営委員会などの組織を設ける。
- 夢倶楽部出版部として、ISBN を付した書籍を刊行できるようにする。その他、機会を見て各種メディアを通じて意見を発信する。

➤ 令和 7 年度活動例

- ✓ 「会報」刊行（第 10 号（2025.4.11）～第 21 号（2026.3.1））。名称募集中。
- ✓ 講演、新聞、雑誌等を通じて発信。このうち一部の原稿料は、本法人の収入として受け入れた。
- ✓ 書籍の出版については、令和 8 年度事業計画の中に盛り込むこととした。

3. 研究会の開催

<令和 7 年度事業計画>

- 月 1 回を目標に、オンラインで教育、学術、文化、スポーツに関する研究会を

行う。

- 講師を招いての研究会や、テキストを指定して読書会的な研究会など、新たな方式も検討する。
- 日本生涯教育学会生涯学習実践研究所次世代生涯学習社会研究会との共同研究会の実施を検討する。

➤ 令和 7 年度実績

- ✓ 昨年度より 1 回多い 9 回のオンライン研究会を実施（6 月、3 月は社員総会のため、8 月はオフ会のためお休み）。出席者数は昨年度とほぼ同様（10 名程度）。
 - ✧ 第 25 回（令和 7 年度第 1 回） 4/9 話題提供：見上会員
 - ✧ 第 26 回（第 2 回） 5/14 話題提供：田幡会員
 - ✧ 第 27 回（第 3 回） 7/9 話題提供：布村会員
 - ✧ 第 28 回（第 4 回） 9/10 話題提供：加茂光孝会員
 - ✧ 第 29 回（第 5 回） 10/8 話題提供：照井会員
 - ✧ 第 30 回（第 6 回） 11/12 話題提供：村田会員
 - ✧ 第 31 回（第 7 回） 12/10 話題提供：山本会員
 - ✧ 第 32 回（第 8 回） 1/14 話題提供：月岡会員
 - ✧ 第 33 回（第 9 回） 2/11 話題提供：吉田会員
- ✓ 2025 年 8 月 7 日に、東京都中央区日本橋 3-2-16 マスヤビルにおいて久々のオフ会を開催した。

4. 会員について

＜令和 7 年度事業計画＞

- 当面積極的な勧誘は行わないが、希望者があればその都度判断する。

➤ 令和 7 年度実績

25 年度臨時総会時点で、正会員 15 名（文部科学省 OB 7 名、女性 1 名）、賛助会員（会報送付先）44 名。

5. 会費について

＜令和 7 年度事業計画＞

- 講師を招いての研究会や書籍の出版など予算を伴う活動を行う場合には、これを機に会費を設定することを検討する。
- この場合、全員から一律に徴収するのは事務コストが大きいと思われるの

で、希望者のみ賛助会費として貢献していただく方法も考えられる。

➤ 令和 7 年度実績

会費の徴収については積極的な意見もあったが、継続検討課題とした。

令和7年度会報発行報告

号数	発行日	主たる記事 1	主たる記事 2
10号	4/10	臨時総会報告、総会議事録	
11号	5/5	第25回研究会報告 発表者:見上会員	
12号	6/5	第26回研究会報告 発表者:田幡会員「教員養成カリキュラム改善の努力は報われるのか」	
13号	7/1	定例総会報告、総会議事録	【特別寄稿】寄稿者:、村田会員「行列のできる万博:大阪万博2025 訪問記」
14号	8/1	第27回研究会報告 発表者:布村会員「東京2020大会ジャーニーの記録と記憶」	
15号	9/1	オフ会開催報告	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「スイス旅紀行」
16号	10/1	第28回研究会報告 発表者:ロリポップ学園学園長加茂光孝氏	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「スイス旅紀行(続)」
17号	11/1	第29回研究会報告 発表者:照井会員	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「フィンランド旅紀行」
18号	12/1	第30回研究会報告 発表者:村田会員	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「第 19 回大学のグローバル戦略シンポジウム「大学経営における地域戦略～大学の財務基盤強化に向けて～」参加報告」
19号	1/1	第31回研究会 発表者:山本会員「『どん底』から普通の大学へ・・・そして 22 世紀へ」	
20号	2/1	第32回研究会報告 発表者:月岡会員「移り変わる虎ノ門～江戸から現代まで」	
21号	3/1	第33回研究会報告 発表者:吉田会員	<寄稿> 寄稿者:合田会員「大学考～大学入試をめぐる大学と社会の関係または大学の多様性について」

会報には、定例記事としてクラブ業務関連、今後の予定、会員活動紹介、会員消息、情報紹介/記事紹介、書評、新刊紹介、今月の一句、編集後記を掲載。

(参考) 令和 7(2025)年度事業計画

1. 大学等に対する支援等の活動

- 会員がそれぞれ個人または個人のグループの自由な発想と主体性のもとに、大学その他の文教関係機関や関係団体等の運営、援助、助言、研究、研修、普及啓発事業への参加、広報への協力その他の活動を行う。

2. ニュースレター及び書籍の出版等

- 会員間、倶楽部内外の情報共有・発信を目的として、会報（月 1 回程度目標）を発行する。
- 夢倶楽部出版部として、教育、学術、文化、スポーツに関する書籍を出版することを検討する。このため、出版部運営委員会などの組織を設ける。
- 夢倶楽部出版部として、ISBN を付した書籍を刊行できるようにする。
- その他、機会を見て各種メディアを通じて意見を発信する。

3. 研究会の開催

- 月 1 回を目標に、オンラインで教育、学術、文化、スポーツに関する研究会を行う。
- 講師を招いての研究会や、テキストを指定して読書会的な研究会など、新たな方式も検討する。
- 日本生涯教育学会生涯学習実践研究所次世代生涯学習社会研究会との共同研究会の実施を検討する。

4. 会員について

- 当面積極的な勧誘は行わないが、希望者があればその都度判断する。

5. 会費について

- 講師を招いての研究会や書籍の出版など予算を伴う活動を行う場合には、これを機に会費を設定することを検討する。
- この場合、全員から一律に徴収するのは事務コストが大きいと思われるので、希望者のみ賛助会費として貢献していただく方法も考えられる。